

お散歩って、とっても大切!

毎日、お散歩に行っていますか?

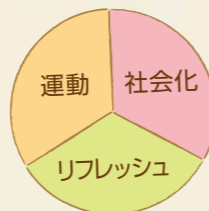
お散歩には、**運動** **社会化** **リフレッシュ** という、

愛犬にとって、3つの大きな意義があります。

お散歩に行かないと、運動不足になってよく吠えたり、落ち着きがなくなったりします。

また、いつもより多めに散歩するだけで愛犬の問題行動が解決した、という例も少なくありません。

さあ、マナーを守って愛犬と豊かな時間を過ごしましょう。



犬の社会化って?

人・場所・犬に慣れさせましょう。家族以外の人やその犬たちとも仲良くできる犬に育てることを「犬の社会化」といいます。人間社会の中で人と快適に暮らしていくためにとても大切なことです。



犬はお散歩が大好き

五感を使っていろんな情報や刺激を受けることで、犬本来の習性を満足させることができるのがお散歩です。

さらに、いろんな体験も。

- 季節ごとのにおいや温度を感じる
- 聞こえてくる様々な音に触れる
- 歩く場所によって感触の違いを知る
- いろんな人や犬などに会う
などなど...



飼い主さんにも楽しいこといっぱい!

家とは違う愛犬の表情や姿を見られたり、今まで気付かなかった景色や、見慣れたはずの場所に思わぬ発見があったり楽しいですよ。



さらに、お散歩上手になれば愛犬とこんなことも楽しめます。



ドッグカフェ



お友達と遊んだけい...



ドライブ



ウキウキ



楽しい〜っ!



はやく〜!

お散歩上手になろう!

お散歩&おでかけマナー

愛犬といっしょにお散歩上手になって、 どんどん出かけましょう!

毎日、何気なく行っているお散歩がもっと充実すると愛犬にも飼い主さんにも、いろんな発見とお楽しみが増えます。せっかく気持ちいい季節がやってくるのです。この機会にマナーを再確認したり、お困りごとを解決して、愛犬と一緒に散歩上手になりましょう。そして、どんどん行動範囲を広げて楽しみましょう!



指導・監修 中塚圭子先生

しつけ教室「ドルチェ・カーネ中塚」運営。これまで指導してきた犬は約4500頭。ペイ動物看護学校講師、神戸市動物愛護推進員を努める。JAHA(日本動物病院福祉協会)認定ドッグトレーニングインストラクター。JKC(ジャパンケンネルクラブ)公認訓練士。著書に「ニコニコしつけ読本」(ペイ)など多数。



わ〜い わ〜い!

おやつちょうだい!



気持ちいいね!





お散歩上手になる

お散歩のバリエーションを増やそう!



渡る

普段のお散歩に遊びを取り入れることで、いっそうのコミュニケーションをはかり、ストレスも解消しましょう。普段使わない筋肉を使うので健康増進にも役立ちますよ。



バランスをとりながら細い橋を渡っているような感じで、歩道の脇の石垣や低めのアスレチック遊具などを歩かせます。飼い主さんのリズムに合わせないといけない飛び石もあればぜひ渡ってみましょう。



ジグザグ歩き

等間隔に立つポールの間を左右にくぐり抜けジグザグに歩きます。はじめは飼い主さんも一緒に、慣れてきたらリードを高めに持ってコントロールし、犬だけで歩かせます。

クンクン歩き



リードを長めに持ってウロウロ。愛犬は自由にクンクン。

これからの季節、熱中症には気をつけましょう。

- お散歩は早朝か温度の下がった夜に。路面の温度にも注意しましょう。
- 水分補給はこまめにしっかりと。
- 日陰のある公園や道を選びましょう。



お散歩上手になろう

首輪・ハーネス、リードを選ぼう。

お散歩やお出かけには、愛犬の安全を守るためにも首輪やハーネス、リードは必須です。



首輪

注意
迷子札、鑑札は必ず付けましょう。



首輪とハーネス

ハーフチョークタイプの首輪

犬がリードを引っ張ると首にフィットして抜けないタイプ。散歩をしていると、犬が引っ張った拍子に首輪がスボッと抜けてしまうのを防ぐのにぴったり。



ハーネス

愛犬の首と胸で支える胴輪と言われるものです。首輪と比べ装着範囲が広いので、かかる力の負担を分散することができます。



ボディハーネス

ハーネスよりもさらに負担が少ない、安定感もある胴回りを包み込むベスト型。

中塚先生ポイント

ハーネスは首と胸で支え負担が分散されるので、高齢犬にもおすすめです。

リード

歩き方

リードは愛犬と飼い主さんを繋ぐ命綱でもあります。

人通りが多くて迷惑をかけそうときや車などが多く危険なときには、
リードを折りたたんで
短めに持って固定しましょう。



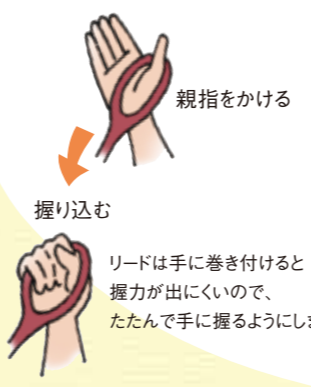
リードを使い分けてマナーを守る

歩道や人ごみの中でロングリードを使ったり、広い場所でノーリードで遊んだりするのはマナー違反です。公道では短めの一般的なリード、公園では自由の利くロングリードを使うといった2タイプのリードを持って行ったり、また伸縮性のあるタイプを使うなど状況や場所によって使い分けのいいでしょう。



リードの正しい持ち方

端の輪の部分に親指や手首を通してから握ります。リードが長い場合はその状態で折りたたんで持ちます。



大型犬の場合は両手で握って固定

ベルトやポケットに親指をかけて固定

中塚先生ポイント

正しい持ち方ができると事故や拾い食い、犬同士のケンカなどを未然に防ぐようコントロールもできるようになります。



一般的なリード
普段のお散歩に。



ショートリード
短いので大型犬など体高のある犬におすすめ。



フレキシビリティ
伸縮自在のリード。普段のお散歩は短く、広場では伸ばしてのびのび!



ロングリード
ディスク遊びなど、思いっきり遊べる10m以上もあるロングリード。

お散歩上手になる

ほかの犬と出会った時は...

お散歩の途中でほかの犬と出会うことで、愛犬は刺激を受け社会化されるのですが、その際、相手の犬とどう接するのがいいのか、相性のいい場合と悪い場合の出会い方、接し方をご紹介します。



両方の犬がいやがらない場合なら

まず、飼い主さん同士が挨拶をしてから、ゆっくりと犬同士を会わせるのがマナーです。



お互いのお尻においを嗅ぎ合えば友好的なあいさつの形です。

よく知らない犬・友好的でない犬の場合なら

苦手な犬とすれ違うときには、かまへ過ぎずリードを固定したままスタスタ歩きます。そのとき吠えなかったらほめてごほうびをあげ、この間に相手をやりすごします。



中塚先生ポイント

人見知り、犬見知りの子はそれぞれで個性です。私たちの中でも人見知りの人がいたり社交的な人がいるように犬の世界もそう。無理になおそうとせず、愛犬のいいところをのびはせてあげてください。

お散歩上手になる

トイレマナー

お散歩の途中で済ませることの多い排泄。便を持ち帰るための道具は必ず持参しましょう。

便の処理時の注意

排泄物の後始末時には、愛犬がウロウロしないよう、リードを踏んで短くして制御できるようにしておくと安心です。



排尿時の注意

NO! 個人宅の前や植え込みに排尿させてはいけません。



市街地で尿をしたら水で流しましょう。

ドッグカフェやドッグラン、ドライブに行ってみよう!

お散歩上手になったら、次はちょっと特別なお出かけをしてみましょう。ドッグカフェやドッグラン、ドライブを楽しむために気を付けたいことをご紹介します。

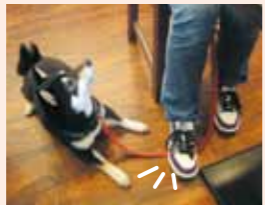
ドッグカフェ

今や定番となっているドッグカフェ。犬好きさんが集まるからこそ、マナーやルールを守って愛犬と一緒にくつろぎの時間を楽しみましょう。



気を付けたいこと

- リードは外さない。
- 排泄はしっかり済ませてから。
- マーキングやトイレの心配がある子はマナーベルトを着用しましょう。
- ブラッシングなどで清潔に行きましょう。
- 発情中の女の子は行かないように。



テーブルに足をかけたりソワソワしゃう子には、「オスワリ」できるギリギリの長さでリードを踏んでおくのいいですね。いい子にしていたら、ご褒美をあげましょう。

ドッグラン



思いきり走ったり、のびのび楽しめるドッグラン。いろんな犬や人に出会えるのも魅力です。

気を付けたいこと

- 愛犬と一緒に入退場。しっかりと愛犬の行動を見まよう。
- 排泄物はきちんと取って、指定の専用ゴミ箱に捨てましょう。
- ケンカを事前に防ぐため、愛犬だけでなくほかの犬の行動にも注意を。
- ケンカに遭遇した場合は愛犬がケンカに参加しないよう管理しましょう。



飼い主さん同士で情報交換も。

中塚先生ポイント

ドッグカフェやドッグランごとにルールは異なるので、前もってリサーチしておくとう安心です。

ドライブ



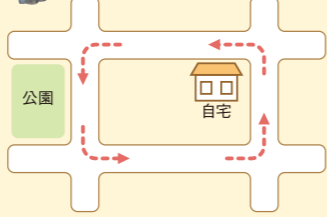
家族旅行や遠出に便利な車での移動。ポイントは愛犬をドライブ好きにすることです。

気を付けたいこと

- 当日の食事と水は少なめに、食べた直後30分間は出発しないように。
- 車に乗り込む前には必ずトイレを済ませておきましょう。
- 車内温度は人間が涼しいかな?と思うくらいがおすすめ。
- 窓からの顔出しは危険です。



まずは車に慣れる練習



- 1 駐車した車に愛犬を乗せ、ドアを開けたままフードを与える。
- 2 一緒に車に乗り、停車したままエンジンをかけ、2〜3分たったら切って終わり。
- 3 実際に車を動かし近所を周回し、すぐに帰る。
- 4 車に乗って近くの公園などに行き、遊んで帰ってくる。

ペピスタッフも楽しんでます!

ドッグカフェ



休日の朝、時々お散歩帰りに寄って一緒にのんびり…。わかめもお友達と会ったり、いっぶくしたりと楽しんでるようです。スタッフ犬:わかめ(トイプードル)

ドッグラン



うちの子は3頭ともそれぞれ気の合うお友達犬を見つけて遊んでいます。自由にのびのびしている姿を見るとこちらもうれしくなりますね! スタッフ犬:いちこ、くろ、ふじこ(パグ) 写真はふじこちゃん

ドライブ



いろんな所に車で走っているの、乗ったら楽しい所に行ける!と思っっているみたい(笑)。窓の外を眺めるのも好きそうですね。 スタッフ犬:クッキー(トイプードル)

いかがでしたでしょうか?あとは愛犬と一緒にチャレンジするのみ! いろいろなお出かけを楽しんでくださいね

お散歩やお出かけのお困りごと、これで解決!!

引っ張り とにかくグイグイと引っ張る

「引っ張ったら止まる、たるんだら歩き出す」を繰り返すことで歩調を合わせて歩くことを学習

両手でリードを持って固定し歩き出します。愛犬が引っ張ったらすぐにその場でストップ。飼い主さんが立ち止まり愛犬が引っ張るのを諦めリードがたるんだら再び歩き出します。引っ張ったら止まる、たるんだら歩き出す。そうすることで飼い主さんの歩調に合わせて歩けるようになります。このとき「えらいね」とほめたり、フードのごほうびをあげるといいでしょう。



リードがたるんだら歩く

引っ張ったら止まる

引っ張り対策用に作られたハーネス&リードの活用もおすすめ

愛犬が引っ張ると肩から胸元の部分がしまり、次の一歩が踏み出せなくなる仕組みのイージーウォークハーネス。興奮を抑えながら歩調を合わせられます。



拾い食い

道に落ちてるものを食べようとする

リードをきちんと持ち、愛犬の鼻先に何があるかを常に意識しながら歩く

飼い主さんがリードで愛犬を管理しつつ、愛犬の鼻先に何があるかを常に意識しながら歩きましょう。また、ときどき歩きながらフードを与えるなどして、おいしいものは道に落ちていたのではなく、飼い主さんからもらうものだとして学習させましょう。



吠えグセ

ほかのわんちゃんに吠える

吠えていないときにほめて、吠えなければうれしいことがある、と思わせましょう

他の犬に吠えたりしないようにするには、普段から吠えていないときにほめる習慣をつけましょう。例えば、前方に犬を発見してふっと飼い主さんの方を見上げたときに「わんちゃんが来てるね。吠えないで教えてくれたね。えらいね。」というようにほめ、必要ならごほうびもあげましょう。そうすることにより、「吠えなければいいことがある」と思うようになります。



拾い食いや吠えグセのある子には口輪もおすすめ

